

〔紅^{こう} 炉^ろ 上^{じょう} 一^{いつ} 点^{てん} 雪^{せつ}〕

燃える炉の上に落ちるとたちまち溶けてしまう「一点の雪のように、
命も瞬時に消えてしまうものだ」ということ。



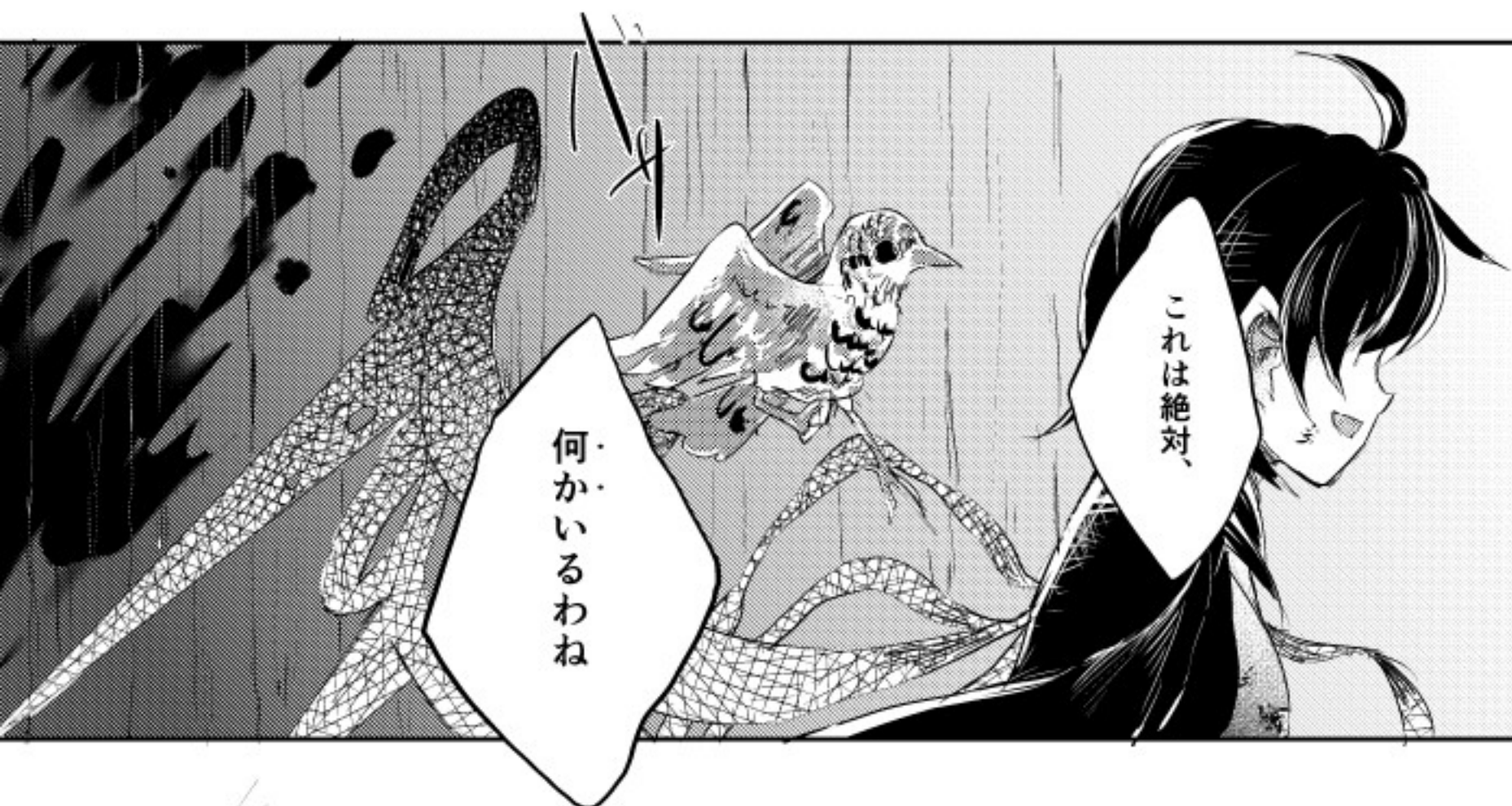
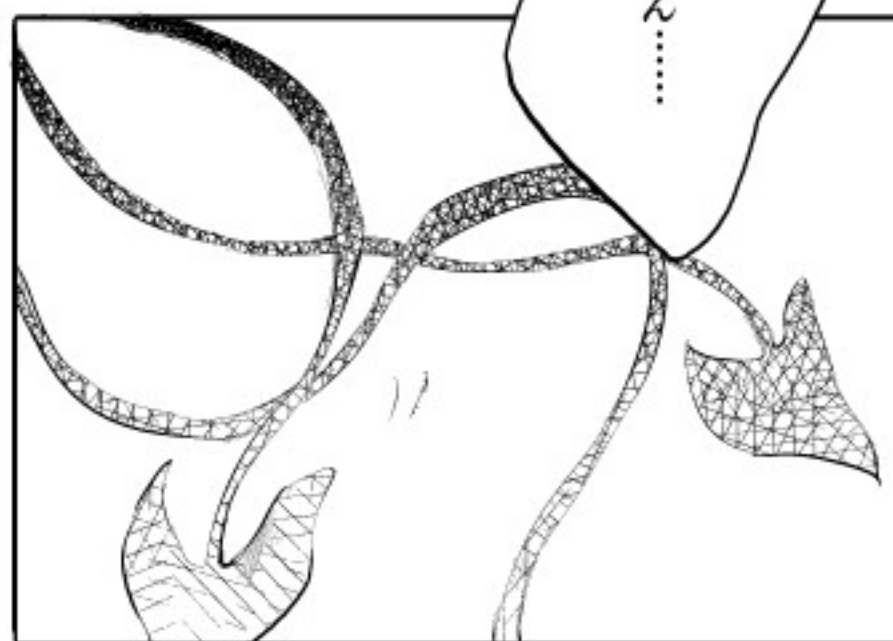
2013年7月31日
佐渡・矢島経島にて撮影



ふうん……



まあた
鼓が自鳴って？



何かいるわね

これは絶対、



ふふ、



佐渡ヶ島かあ



まだ、
いるかしら？

佐渡ヶ島

あいつ
推古天皇に記録されて
から何年かな

尻尾が大きくて
かなわないうよ……

ズズズズ……



やっと見つけた！

ズズズズ……



外から
血の匂い？



この島には
貴方以外の
狸はいないの？

ああ、渡って
きたのは私だけ
ライバルがいなくて
暮らしやすいから
最近棲み着いたんだ

と



私は私・が・何・である・か
すら分・から・なくて、
人間を殺す・ぐ・らいしか
してないのに

ほう？



海の方こうから
不穏な空気を
感じるのでは

人間に警戒させて
おけば平穩に暮らせる
だろう？

すごいじゃない

自分の為とはいえ
国を護ってるのね



ふむ

こないだ鼓を
鳴らしたのは
貴方よね、なんで？



でも鶴鳥の姿にはなれないし

そうそう 私自身鶴だった気もするのよねえ

こいつは子分よ

子分、か

お主は

何故鶴を飼っているんだ?



ほほう!

そうだな……

お主は鶴であって鶴でない存在になってしまったのかも



ああ確かに、今では鳴いただけで陰陽師呼ばれたりするわねえ

世知辛いわ



鶴の声って、昔は『悲しい』とかだったが

最近は『不気味』なんて言われてるじゃないか





お前さん
名前は
あるのか

そんなの
いらんない
じゃない



これからは
私が呼ぶのに
困るんだよ

うん
別にいいん
じゃない?

そのまんま
ぬえでどうだい

お前は?

いらなかった
から名無しの
権兵衛よ

実は私も、



じゃあ、
私もそのまんまの
名前付けてやるわ

マミソウ

どう?



……えらく
男らしい
名前だね

だって
男っぽい
じゃないの



ねえマミソウ、
私は、

折角だから
立派な妖怪になって
やろうと思うん
だけど、どうすれば
いいと思う？



成程ねえ、

じゃあ、佐渡の
ものに弱いつて
ことにしとくわ

し
そんなお手紙に
決めていいのは
あんなに...



そうだねえ、
強い妖怪には
弱点がつきものってね



……私が書いても
いいのかねえ……



ね、何かに
書いといてよ

書物にでも
記録されてないと
多分意味
ないんでしょ



そろそろ
都に行ってみるわ

この島に来るまでの間も、
ずっと放浪してたからねえ

そうか

また文ふみでも
寄越せよ？

足に紙を付けた
鶴鳥つるどりによるしく





……この島には
狸がないと聞いて
来たって？

はは、面白い、
私と同じじゃあないか

しゅ〜ん

へえ、でも貴方のような
立派な狸がいるとは、



私も最近分が欲しく
なってきたとこだしな

ま、まあ



せ、折角なので
弟子にして
くださいませ！

えっ



こっそり活動して
るからな、知れて
ないのも無理ない



マミゾウ親分、
昨日都の武士が
来たらしいです

ほお



源氏か……

あつこは平氏とやら
といざこざがあった
んじゃないかな

それもほつぽり出して
こんな遠いところまで
来るなんて、余程重大
なことがあったのか



名は？

えっと

源頼政、の使い
とか聞きました



……
そいつは
何して帰った？

はあそれが

矢島の竹を
ですなあ……

例えば帝関係とか？



ちよいと
気になるな

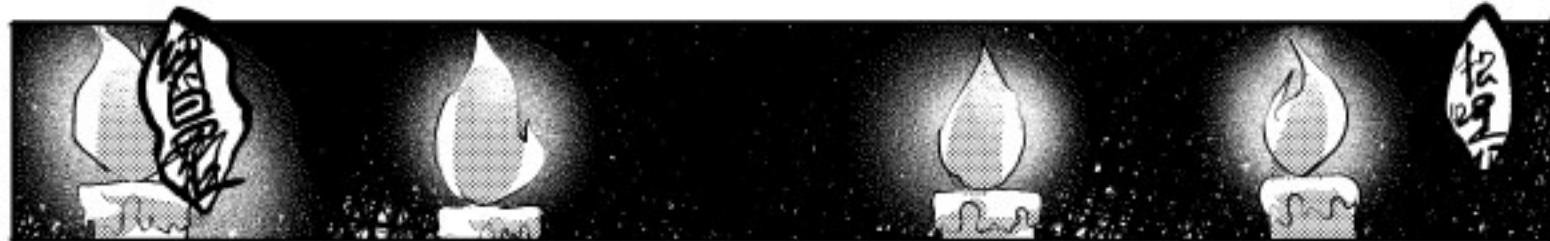


矢がお目当て
か……



あいつにでも
文をやって
おくか

どれ



松野





京都



今一当てがないが



そろそろなら結構前で
退治されてしまっただよ



手紙に書いてあった
天狗がいる山とやらに
行ってみるか.....



…は？

退治……された？

たいぶ強いやつ
だったけど帝サマに
喧嘩吹っかけた
みたいでねえ

もうちょっと
で殺せたよう
だけど、

土蜘蛛とか退治した
人間の子孫に
やられちゃいました



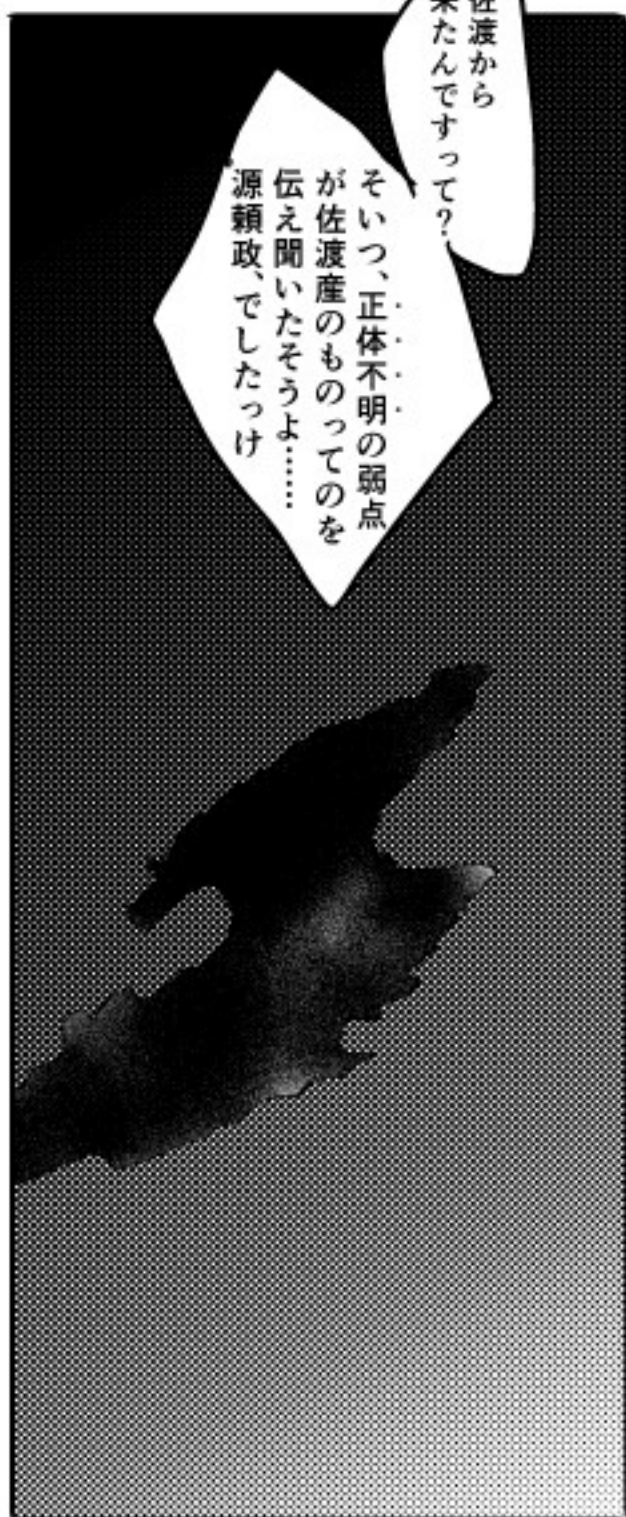
源、頼政

佐渡に使いを
送って来た奴
じゃあないか



謂れのある弓を使って
弱点に関わる矢で
射抜かれて、刀で
何度も刺されて

死体は川に流されて
拾った人間が埋葬
したそうですよ



佐渡から
来たんですって？

そいつ、正体不明の弱点
が佐渡産のものってのを
伝え聞いたそうよ……
源頼政、でしたっけ



私はぬえの仇になる人間を
みすみす見逃してしまった
というのか……？



なんと、あいつはぬえ
って名前なんですか！

え

ああ
……

ずい



ぬえを殺した
頼政は合戦でもう
死んだのか……？

ええ一番
最初にお
……って
「ぬえ」とは？

ああすまん……
その正体不明の妖怪の
名前だよ



私たちが訊いても
適当にはぐらか
されるだけだ
ったのに

そういえば
鶴みたいな声か口笛
得意だったなあ

あなたはその
ぬえとどういう関係
なんですか？

えー、

私が付けたんだよ、
ぬえって名前

ん

あなた、物の怪の
名前の重要性
分かってるん
ですか!?

名前付けるなんて
命綱を握るような
ものよ……
妖怪は自分で名前を
決めるべきなの

……まあ、
あいつはもう
退治されちゃった
からあれだけど

そんなに強制力を
伴うものだった
のか……

今までそんな
こと聞かなかっ
たが……
もしやぬえは
都に帰ってから
知っていた
のだろうか

あいつの
ことだから
関係がギクシヤク
するのを恐れて
あえて言わずに
おいてくれて
いたのかも
しれない

……
世話に
なった

感謝する

……
あっ

実は退治しきれ
なくてこっそり
封印したって
情報も

おす

そういえば、
あったかな
って、今……

……まあいっか





ぬえ

おやすみ



塚は幾つか
あるようだが

本物はこれだろう……
正体不明の種とやらが
悪さをしたようだ



よう新入り達

私のことは「団三郎」
とでも呼んでくれ

まあ、商人の名を
ちよろまかした
もんだがな





あいつが付けてくれた名前は他の奴には教えることにしたよ

私が付けた名前はうっかり天狗なぞに言ってしまったからすっかり広まってしまったが……



親分、なんで仮の名なんぞ使ってます？

ああ

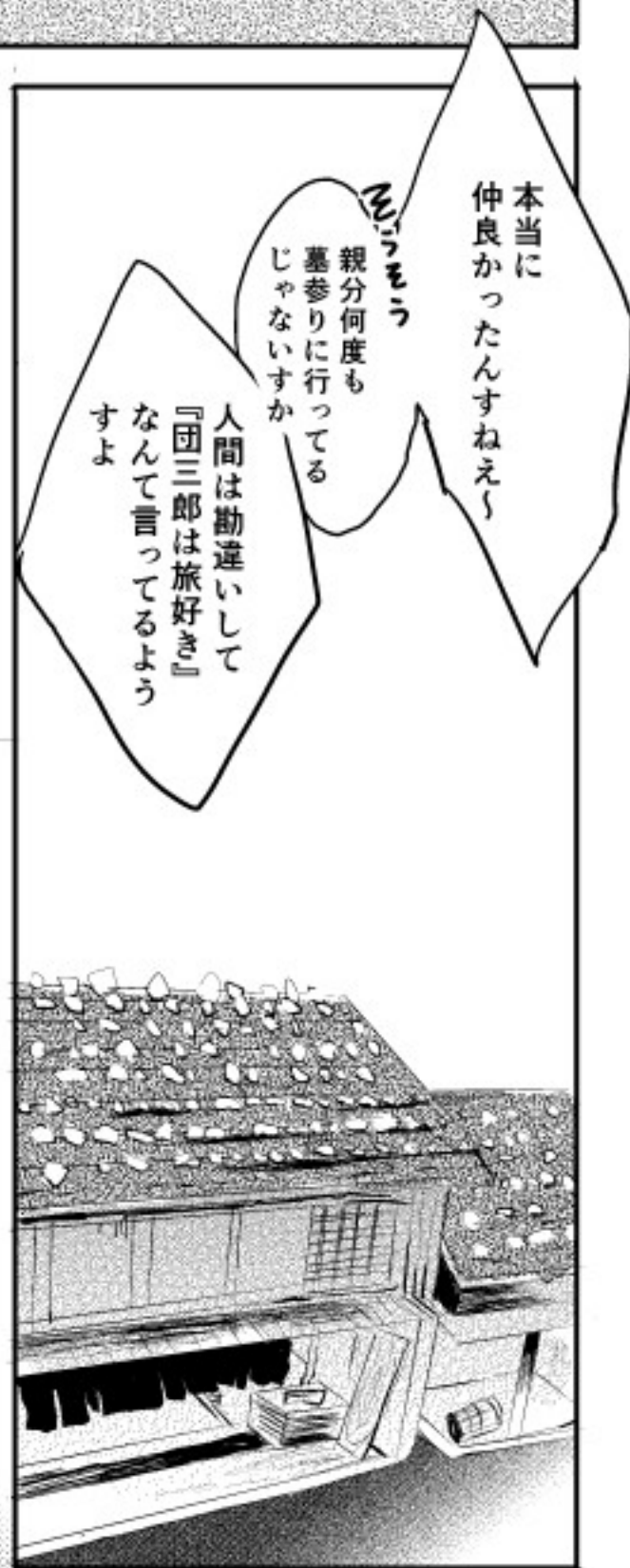


そうかそうか

でもついでに回りたいと色々寄っとるから半分は合っとるぞ



人間は面白いな



本当に仲良かったんすねえ

親分何度も墓参りに行ってんじゃないすか

人間は勘違いして『団三郎は旅好き』なんて言ってるようすよ



……本当にもうすっかり
寂れちゃったのう

自分共も人間に化けたまま
日和ってそのまま死んでいく
始末……

なんと意気地の
ない奴等じゃ

お前達
四天王は
ようやっとなるよ

親分また
本土すか

墓参りばっかりは
欠かせんからのう

なに、
またすぐ帰ってくるさ

さて……
すまんが僕はまた
ちよいと出るぞ

ようやっとなるよ

幻想郷



はあ私が来たのは、
住職のうさんくさい
顔なんて見るため
じゃあないよ

とつととあいつを
出しなさい、
あいつを

あの……、
あいつって

そんなこと
も分からな
いのか!!

えっ

こんにちは
お坊さん

……お嬢様、
ここは私に
お任せを

ふん

こちらの鶴さんは
今いらっしゃるかしら

……屋っばら
から吸血鬼とは
世も末かな?

最近の吸血鬼は
屋型なんだよ

そんなことも
知らないなんて、
古臭いっただら
ありゃしない

私はね、こう見えて寛ぐ
ことに忙しいから、
用件は簡潔にどうぞ

寛ぐことの忙しさが
分かってるのは
良い事だよ

では簡潔に言おう



なんでこんな処
にいる？

……は？



同じ大妖怪
として許し
難いことだ

恥だ



こんな処
なんで命運寺に
いるのか、と
訊いたんだ

鶴といえば
誰でも知ってる
じゃないか

お前の立ち振る
舞いは、大妖怪
らしさに欠けて
いると私は思う



ふうん
どの辺が
恥かしら？



はっ
どうせ分かってるん
だろうが……
他人の下にいることだ

もしお前に力があるなら
立場は逆のはずだ……
そう今の私のようにね



すまない
わね

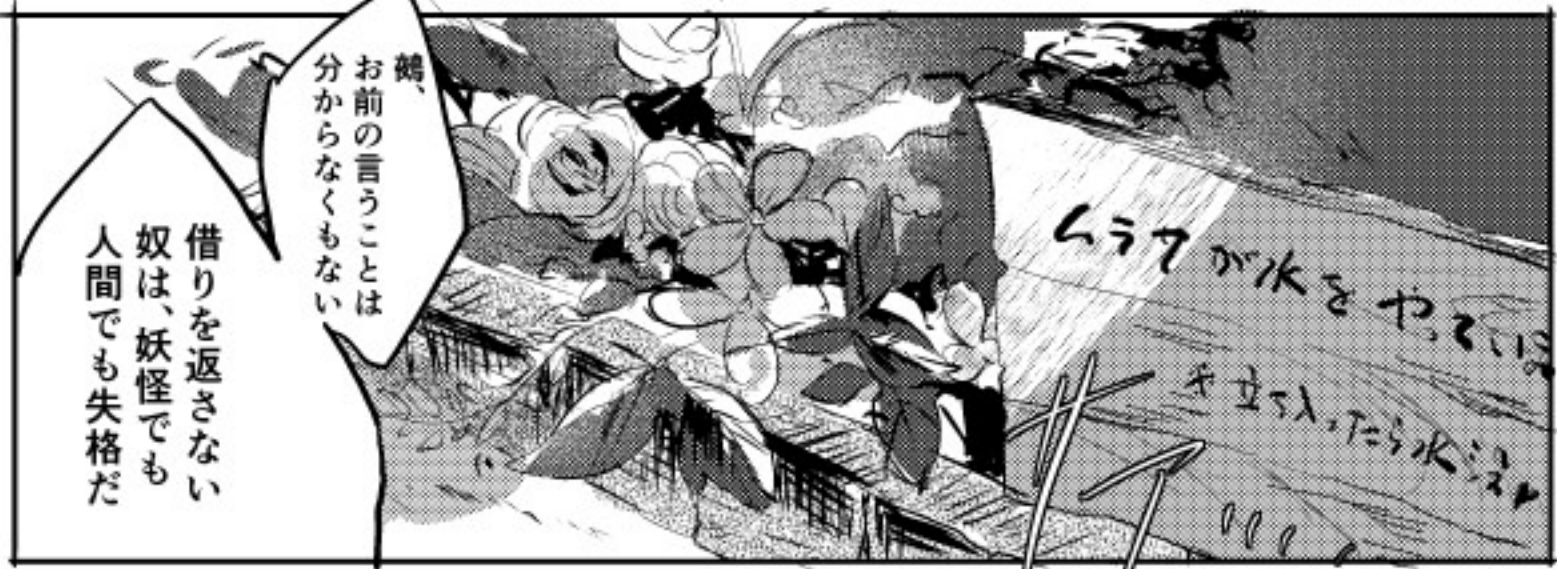
この住職には
借りがあるんだよ

それも
また……

すぐには
返せそうに
ないやつだ

……私にも前
そんなことが
あった気が
するね？

永夜異変の
とき返し
ましたわ



鶴
お前の言うことは
分からなくもない

借りを返さない
奴は、妖怪でも
人間でも失格だ

くらげが水をやってい
て立入、たは水泳



そうか

そういう
理由がある
ならまだ
良かったよ



用事が終わったら
すぐ出ていくわ

ずっといたら、
更に借りを作って
しまいそうだしね

ほんとに
屈服したんなら

其れ程滑稽で愉快で、
不愉快なことは
無いと考えて
いたんだけどねえ？

しるっ





時間はかかっても、
いつかは借りを
返せるはず……

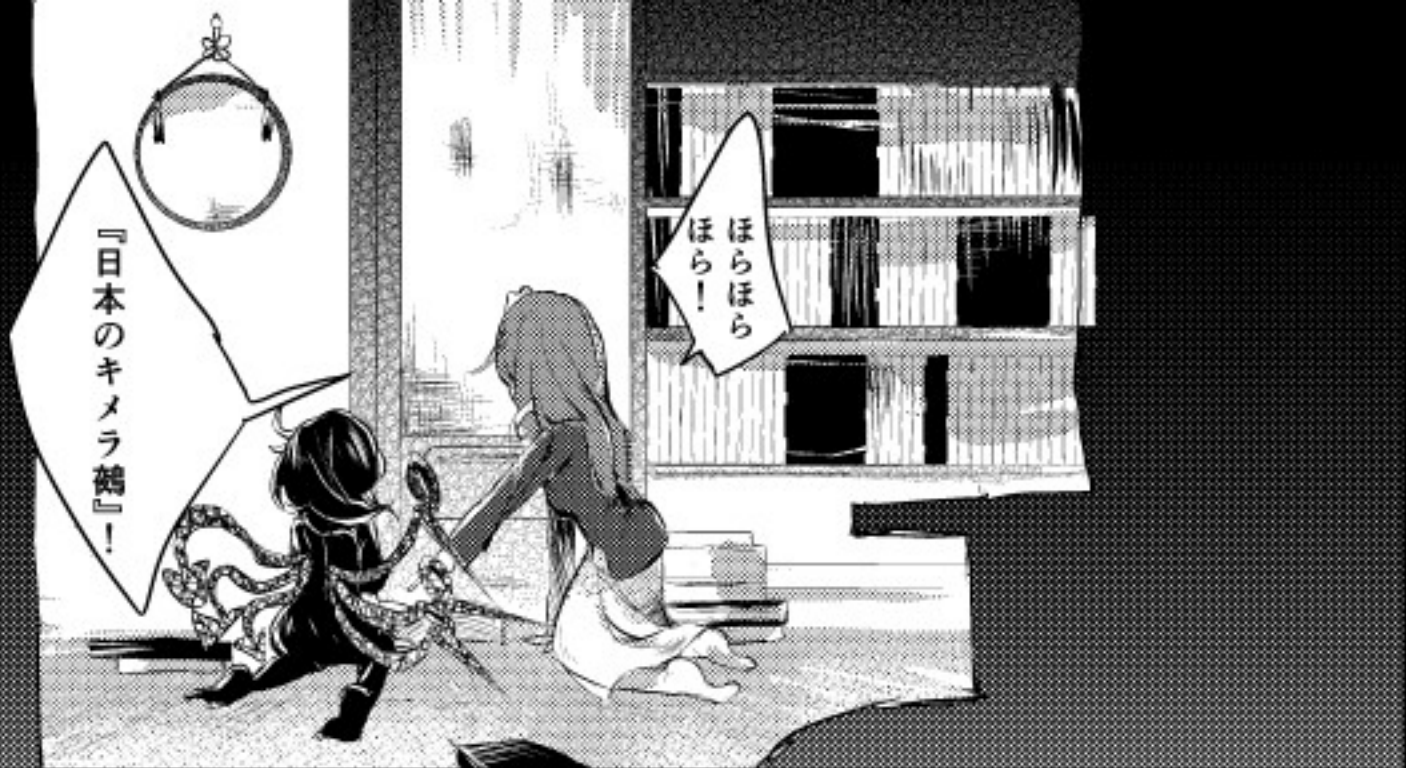
おおっ
どなたかと
思えばっ

ぬえさんじゃあ
ないですか！

正体不明ステルス中

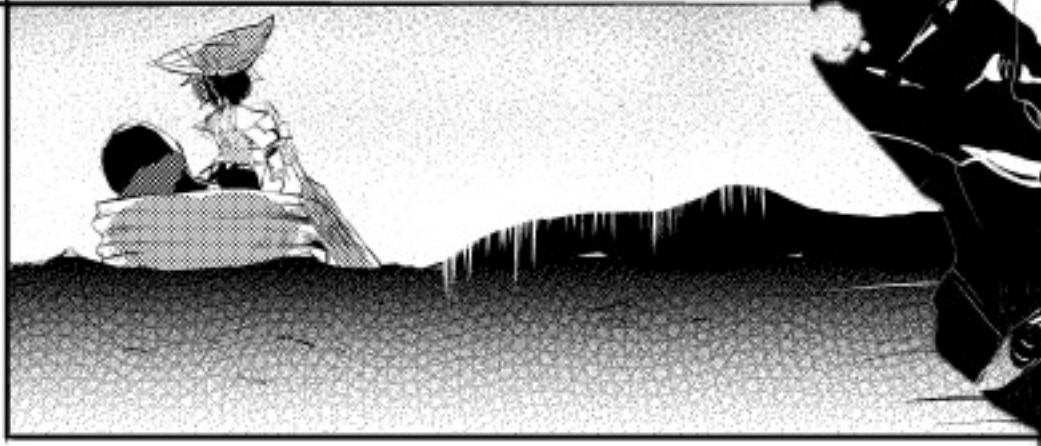
今ちょうど外の本を
整理してたんですが、
丁度貴方が載ってる
本があったんですよ

えっ
ちよっと
……



い
あ
る。





……マニゾウってのは
あなたね？

おめでとう
貴方を招待しますわ

幻想郷に

……まずは
名乗りを
上げるべき
じゃろう

大体検討は付くがな

あらあらご存知
だなんて照れ
ちゃいますわ

私は幻想郷の賢者
八雲紫……
この度貴方様をお招きに
参りました

隙間妖怪
については
昔よく耳に
したが、
実際お目には
かかれるとは





わざわざご苦労な
こって

幻想郷ってのは
聞いたことが
あるが

あれは招待制
だったのかい？



あつ
私がこんなこと
やったってのは
秘密ね

うちの狐に
怒られちゃい
そうだから



き
狐を飼つとる
のか……

狐を騙して海に沈めたことのある
貴女を招き入れたなんて
知ったら……
あゝこわいわあゝ

ふふ
誰かさんの
つよい要望が
ありましてね

面白そうだから
今回は特別です

…しかし、
僕はまだ幻想郷
なんぞに行かん
でも平気なん
じゃがな

どこの誰じゃ、
そんなことを
わざわざ言っ
てくれたのは



あなたが今から
会いに行こうとしていた
者ですわ

?

いや、僕は墓参りに、

それに

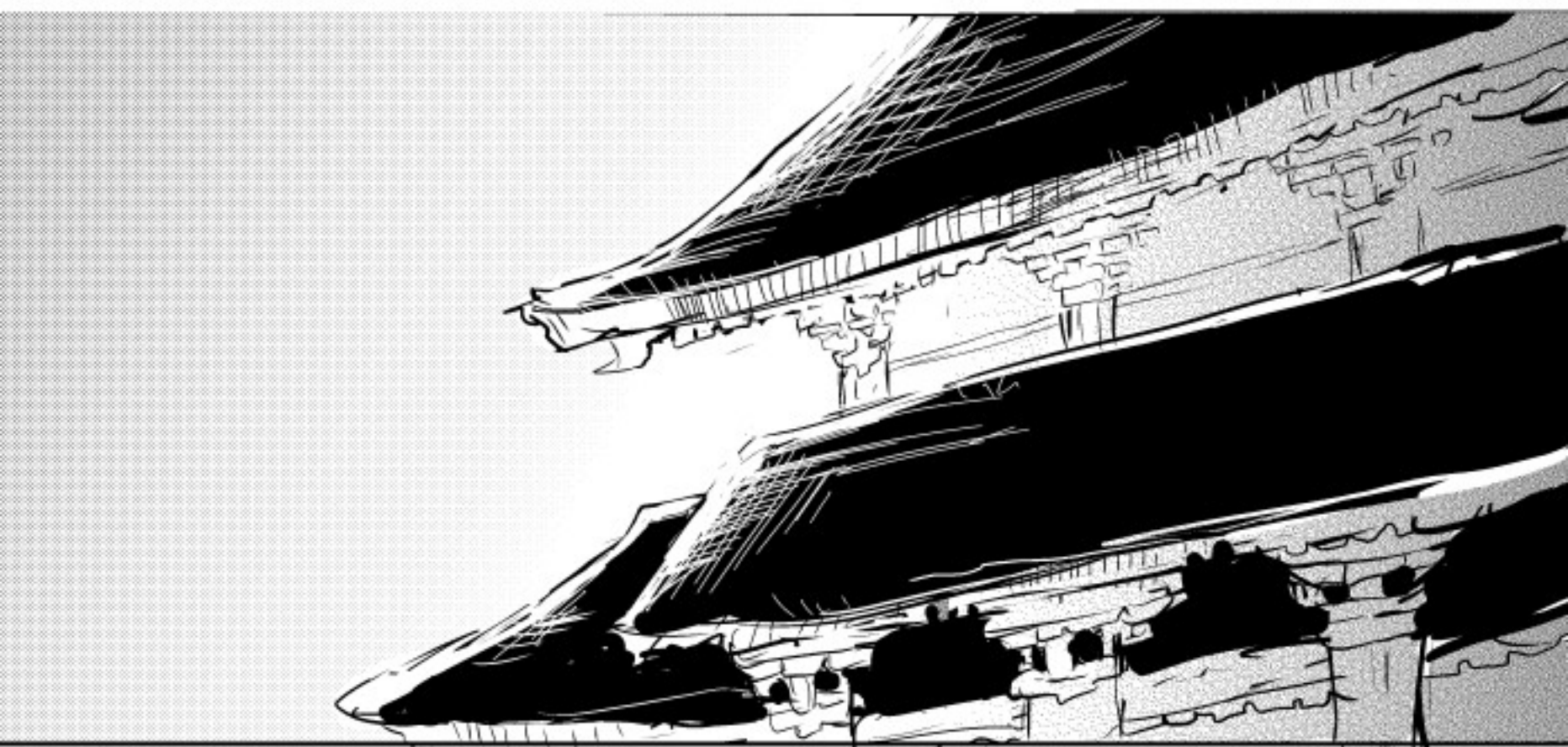
貴方は招かれざるを
得ないので

名付け親の命令は
妖怪には
ほぼ絶対ですわよ？

そのお供え物

本人に直接差し上げると
よろしくてよ





なんとなく永遠を感じる数字ね

……八百年、か





あらやっばり
知ってた?

………何、
きの口癖

新しい口癖じゃ



………隙間妖怪に
頭を下げたん
だって?

ぬえらしく
ないじゃないか

………ええ

ちよつと
頼みたいこと
があつてね



あ、あーそうよね、
口癖の一つや二つ
変わるわよね

その、なんだっけ、
眼鏡?
それはどうしたの?

ぬえも外の電子機器には
気をつけるんじゃぞ………
お前さんは変わつとらんろう



巫女に気付かれちゃあ
しょうがないわ
ねえ！

しばらくこっちの
生活を体験してみると
いいとか隙間妖怪が
言っちゃったし

もうちょいここに
棲み着いてみるぞい

本当に
これだけの
ために僕を
呼んだのか
……？

うん

そうして





ありがとう

でも、一人で
頑張れると
思うから



……

相談、
してくれても
いいんですよ

……私達もずっと
聖のこと言っ
てなかつたですしね

これでおあいこね





それでぬえは、

満足なのね？



……そう……

分かり、ました



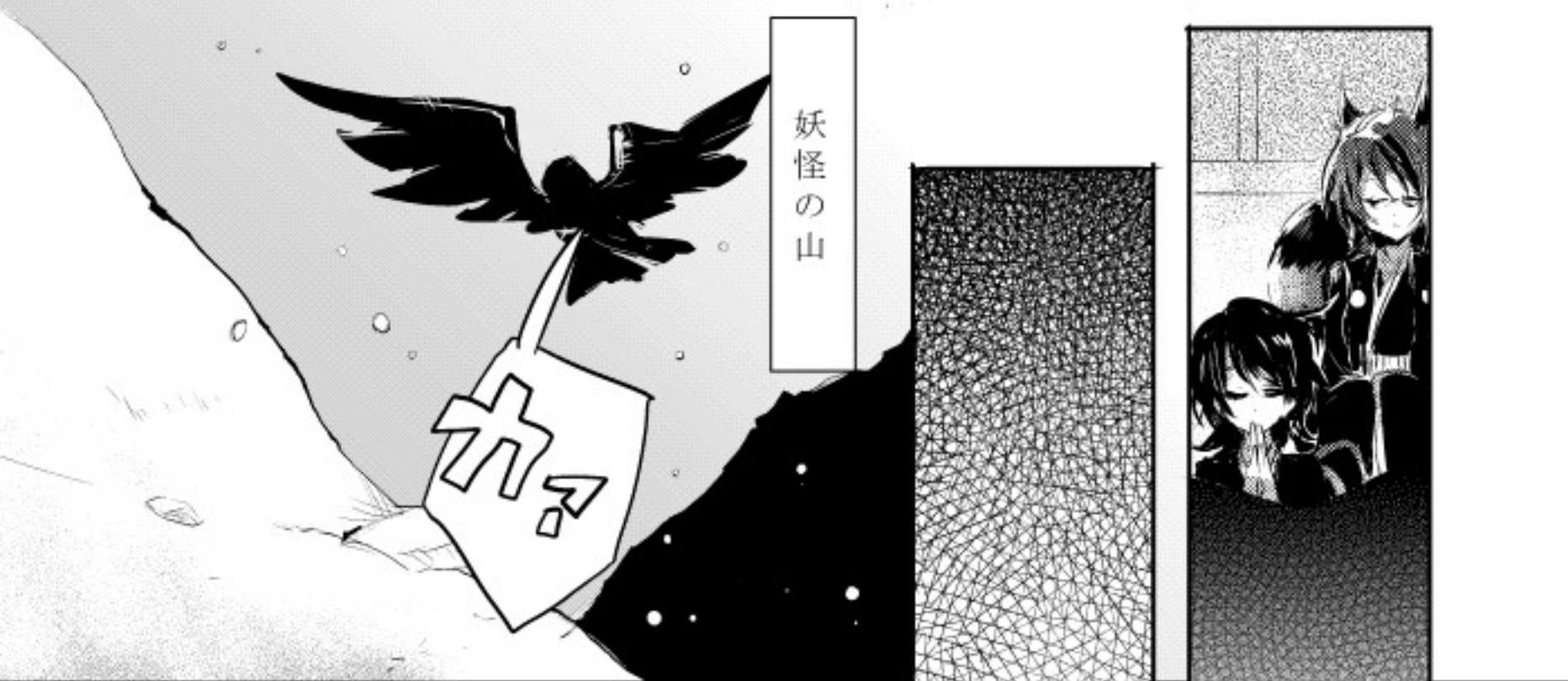
……うん、

満足よ

ぎゅ

お前は
気にしなくて
いいよ







——最後に『紅炉上一点雪』
という言葉をお教えします

命は急に終わりを迎えるものですが、
悔いを残すことの無いように
精一杯生きていきましょう



……はい、
これにて本日の
出張説法は終了
となります

今日もスリリング
かつためになる
お話ありがとうございました！

うふふ、
お役に立てて
光栄ですわ





また聞きたい
気分になれば、
寺までお手紙でも

カキ



カキ



はぁ



んっ

やっぱり
疲れるわねえ、
白蓮のフリは




大人気ね、正体不明？

大変だった
けど、これも
今日で……



カキ




……念写の天狗
じゃない




ああ

貴方には私の
正体が割れるん
だったね




最近
密かに山に
住職が来てるなんて
情報を耳にしたから、
念写してみれば
あなた!

私から見ればあなたが
説法してるようにしか
見えないから滑稽で
仕方なかったよ?



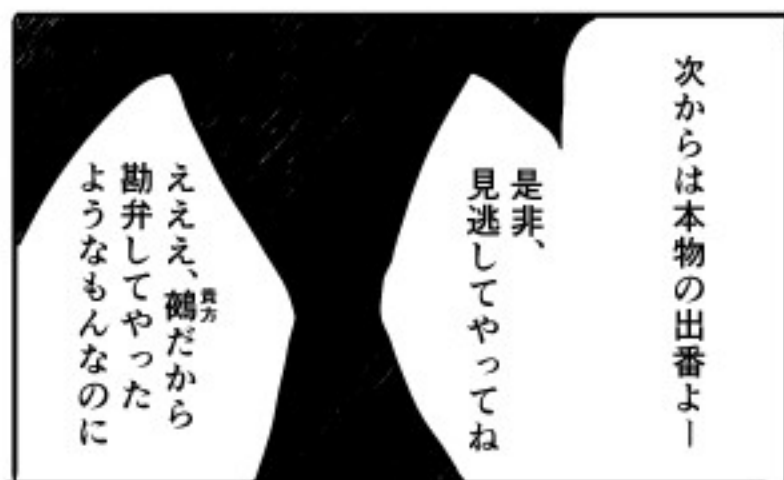
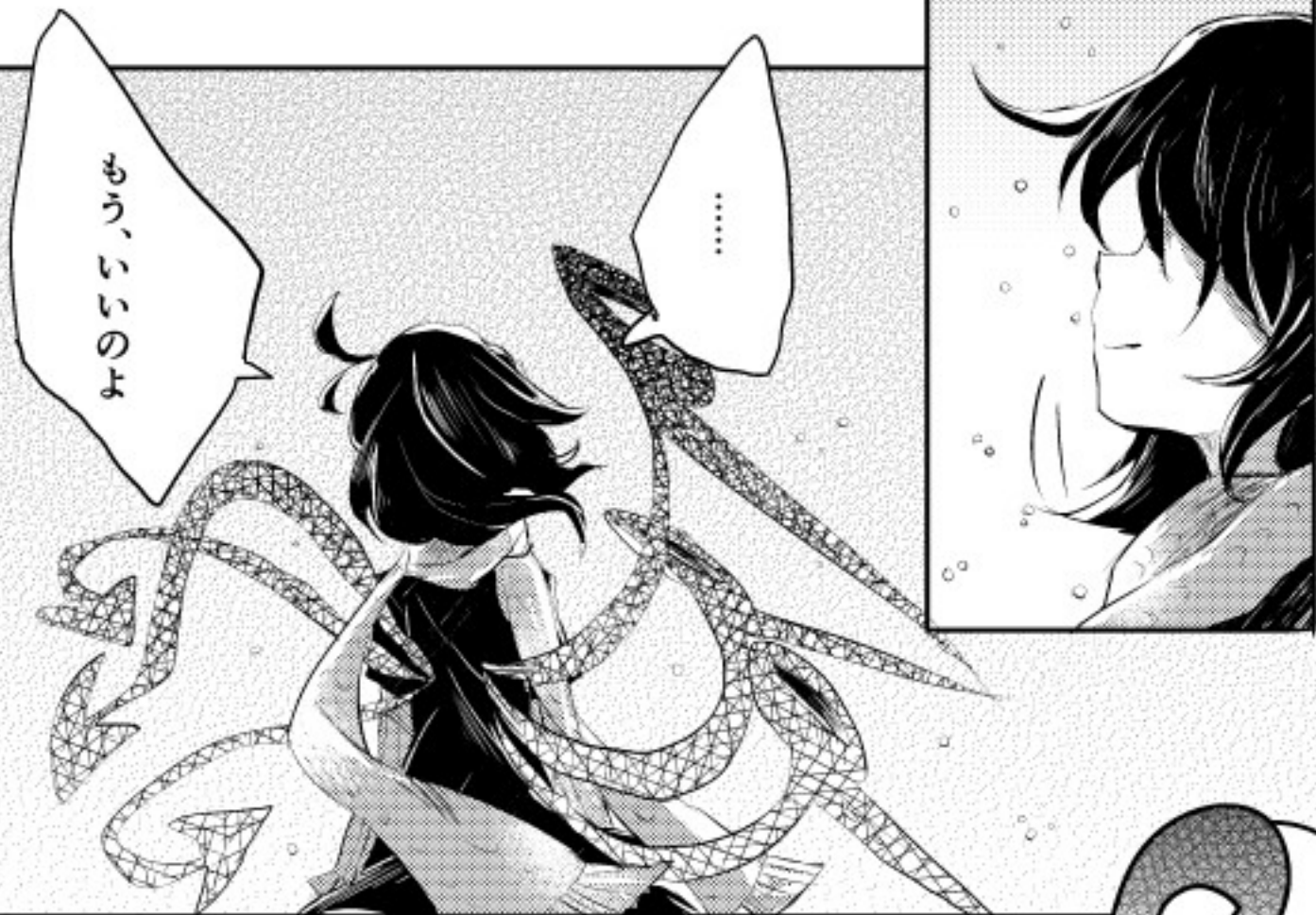
あー、
これだけど、

私はもう来ないから



え?
そうなの?

こんな事して
る理由は……
まあ訊かない
けど、よくやる
わね





はあ

はあ



はあ

はあ

はあ



はあ

でも……ギリギリ
ノルマは
果たせたわ

はあ



はあ

はあ

や、やっぱり体力も、
落ちてる……
人間並み、
かしら

そろそろってとこね……



やっと
用事を済ませたよ……
吸血鬼





ようやく
終わらせ
られる



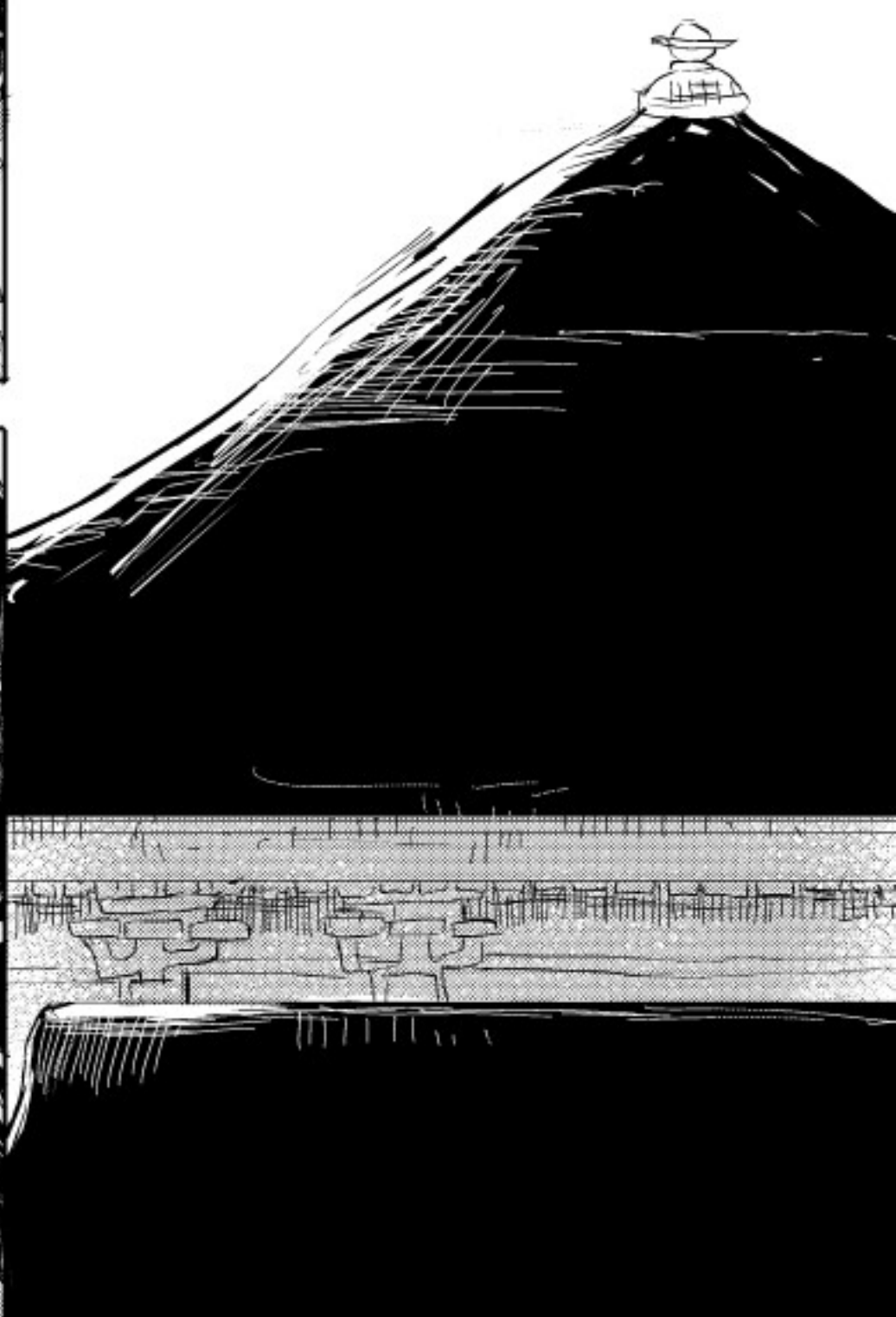
カ
ッ



あら
おはようございます、
マミゾウ



聖、おはよう





貴方なら知ってるかと思っただけだ...あの子の行方

はあ？



ぬえは今寺におるかね？

あれっ



それが、ぬえったら、数日前出て行ってしまったのです

今日限りで出ていくから、って、理由も言わずに.....



そうか

あいつも僕と同じく出て行ってしもうたか.....



すまんが何も聞いとらんろう

.....
そうですか

マミゾウはこうして
頻繁に来てくれる
からいいのですが

……一人欠けた
だけでも、
本当に、寂しい

特に、

ムラサと一輪、
雲山はとっても
気にしています

そうか……そいつらは
地底でもずっとあいつ
と一緒にだったんじゃないかな

そうなんです

はは、しかし
ぬえはロクに
寺の者と交流しとらん
かったののう

う、

まあ、

それはそうなんです

最近星も私も、
急に出張の依頼
が多くなった
ので

あの子が戻って
きたら
してほしいこと
は沢山ある
のですけどね

ふむ……

察するに
終わったの
かな……
もうネタバレ
しても構わん
じやろう

お前さん、ぬえに
『恩返し』されとった
のは知っとるか

恩、返し？

僕はよう知らんが、
悪い事したぬえを赦してやった
そうじゃないか？

その出張とやらもあいつ
がどうこうした
せいじやろう

僕が呼ばれたのよ、い

……そんな事を
気にしてたのね……

それが終わったから
出て行ったと？
随分と不器用だけど、
あの子らしいわ……

ふふっ

もっと『早く帰ってきなさい』
って言わなきゃならなく
なりましたね？



ふむ

……本人に通達して、
四天王に手紙を渡して

色々ありますわねえ



一旦引き受けた
でしょうか？

まあね

マヨヒガに辿り
着いた者には
幸運を

この最後のは何かしら、
武器を作れと？



いや

私は貴方を信頼してるわ



しら

人にそういうこと
をやすやすと
教えるものでは
ないわよ



いや、竹を取って
きてくれるだけで
いいわよ



触るぐらいなら
できるでしょうし

……



丁度いい所に

はあい、ニツ岩さん



一体、何が

あら〜

隙間妖怪

……
これはどういう、
ことじゃ？

この、事件の影響は里に
まで及びかけています

貴方に討伐の依頼
を致しますわ

よろしくね

……何故

それに、貴方が
一番相応しいの



鳩退治





グオオオオ



またやっぱり来てくれたのね



……救いに、ね



待ってたよ、旧友

お久しぶり



ぬえ

貴様……
なんで

おわ



あら？

お前が私に
そんな表情
するの初めて
なんじゃない？



ふふふ、
空白の期間が
長かったとはいえ
一世紀以上の仲
なのね……



つれないわねえ



何故

と問うて
いるんだ!!!



そんなに

あれが大事だった
かしら？



ぬえ

貴様が
こんなこと
をする奴とは
思ったらん
かったぞ!!!

理由を聞きたいなら、
私を倒してみせなさい、
ってね





……わざと、
受けたな？



え？

あと、
さっき嘔吐いたわ



……
私がおかした
理由も
言えない

もう抵抗
できる力が
ないから

お前が見た
事件は



正・体・不・明・だ・か・ら

私は「何か起こった」
って情報を流して
能力を使っただけ

マミゾウなら見破っ
ちゃうかとも思ったけど、
お前も焦るときがあるんだな

お前達……

もしや全部、
ぬえの能力？



一体何が見えたの、
かしら、

ズルッ

お、おい……

悪ふざけにしては
ちと度が過ぎる
んじゃないのか!?

私は、真面目だったよ

……
悪ふざけ、か

んん。。

と、兎に角

思いつき
刺したから

中々傷は癒えんと思うぞ

ズルッ



.....え、



もう体力も妖力も
ほとんど無いのよ
.....今の私には能力だけ

ごめん.....
じゃない、

ありがとね、マミソウ

きっと、
私はこのまま死ぬ



さっきから
ぬえが何を
言っとるか
さっぱり、

待て



.....多分、

治らないよ.....

退治されたかったの



ママソウ、
私はね、



人間
みたいに

寿命なんかで死ぬのは
死ぬほど嫌だった



退治されて
死にたかった

妖怪として、鶴として死にたかった
……これは最後の鶴退治よ



……寿命？

妖怪に寿命なんて
ほぼ無いに等しい
じゃないか……
ぬえのような妖怪なら
尚更



『キメラは総じて短命である』



……ああ、
そんな伝承
もあったな



……妖怪は、
言い伝えから生まれて
言い伝えに殺されるのよ



そうか、
やはり聖人対策など
ではなかったのだな



だからお前を利用
させて貰ったよ、
مامィゾウ
あの男
頼政はあの矢でも
私を殺せなかったから
佐渡の代表たるお前
ならいけると思っ
てね



最初から自分を
殺すため、か

せめて相談
してくれば、
……いや、



何も悪くない旧友を
刺すことなぞ
できなかつただろうな

……ごめんね

でも、
短い間だったけど



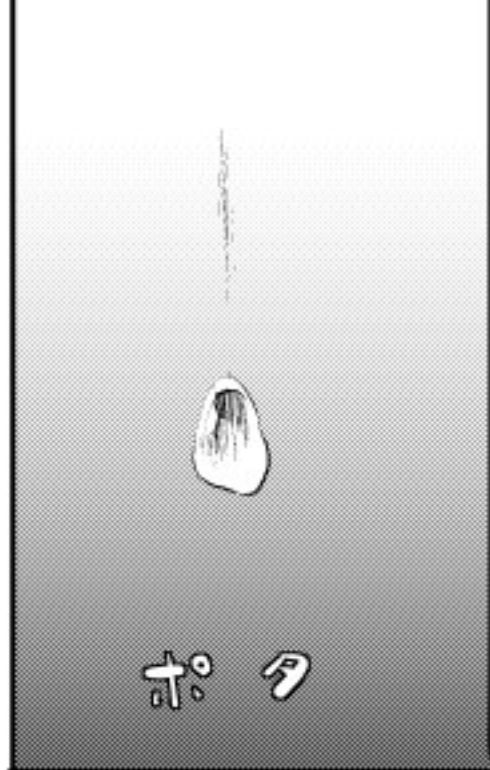
……はは、

照れくさいな、
何を言うか



昔みたいに

ママソウと一緒に
過ごせて本当によかった



ぬえにはまだ
生きていて欲しい

だが……それを伝えた処で
きつと如何にも
ならないのだろう

彼女が、
もう満足してしまつて
いるのだから

ぬえ

ねえ
ママソウ
……

私、
苦しいの

お母さん
お母さん
お母さん

お母さん
お母さん
お母さん



もう一回
刺してくれない？



……それに、
お前が悲しんでくれる姿も
もう見ていたくない、から



……ん
こんな状態の輩に、
何が出来るかしら？



……お前さん
ぼっか命令してる
じゃないか
こっちにも
ちよいと命令
させとくれよ、



……でまん
命令よ
私にとどめをさせ



生きろ



生きろ、

頼むから
生きてくれ、ぬえ



……はは、

言わんでおこうと
思ってたんだがな……

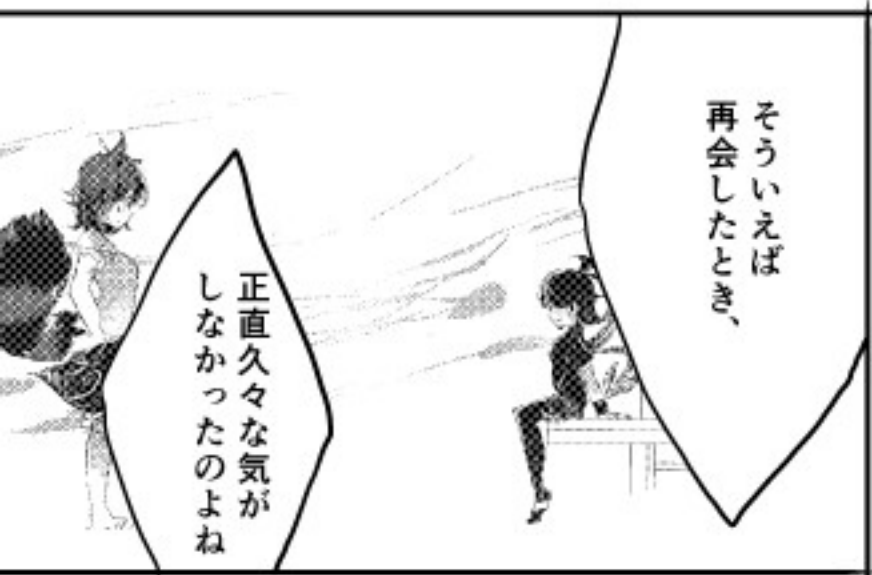


外の世界でも
お前の墓に何十回も、

何百回も
花を添えに
行っていったんだ



……また、
こっちでも
墓参りをしろと？



そういえば
再会したとき、

正直久々な気が
しなかったのよね



でも、

その命令は
実行不可能だから、
聞けない



……へへ、
そうだったのか……
嬉しいよ、すごく



また何回でも墓参りしてよ

待ってるから



お前は今、

幸せなんだな？

ガビ

………ったく

こっちの仕事ばかり
増やしやがって……



最高よ



じゃあね、マミソウ



じゃあな、



そいつは、よかった



ク

ぬえ

ナ

おわり



おがき、
お+

おと
救世主の人たち



目を閉じて挿いた
トラップミ



わかりあえませんが
働いてきたのに反省はない
お教化の時の某マの
ぬえおの場を
クリスマスは 異常

かあ...



口癖のはおねえは
かた...



ダブスポの両者の反応のちがいが
文ちゃんはおねえさんのこと元々知ってたとい
いなあとすこしこじつてました
はたてちゃんも、おねえさんと顔が似てた。



ミチたんたん
描いてない

紅
燗
上
一
点
雪

こうじやうさつこのゆき

